

♪「金指修平コンサート」*ロシアより愛をこめて* ぶらり訪問記♪

2009年4月26日(日)15:00開演

会場 カフェ&ギャラリー「結」

小田急線「鶴川」駅よりバス約15分

出演者：金指修平(バリトン歌手)

ゲスト：結・女性トリオ

入場料：前売り3,000円(1ドリンクつき)

■新緑の季節、早いところではゴールデンウィークが始まったとか、そんな1日の昼下がり小田急線とバスを乗り継ぎロシア民謡を聴きに行きました。会場は広大な鶴川団地に隣接し、バス通りの向かい側に国土館大学キャンパスがある、そんな住宅地に構えたかわいい喫茶店です。お店の中は、「前売り券をお買い求めください」と案内にあった通り出演者のファンで座席が足りなくなっていました。(写真は店のインテリアとして用意されたロシアの木彫りのチェス。他にもいろいろな飾りつけがありました)



■オープニングは、プログラムのタイトル同様(映画「007」で使われた)「ロシアより愛をこめて」でした。生の歌は本当に久しぶりです。オープニングから何か郷愁めいたものが乾いた身体に沁みます「ナタリー」、「モスクワ郊外の夕べ」、途中、女性トリオの「おおかりーナの花が咲く」「百万本のバラ」と続く。曲の生い立ちや解説も勉強不足の私には大変ありがたい進行でした。

■次の「サンライズ・サンセット」では、私も以前独奏用に易しく編曲されたものを弾いていたことがあったので、へーそんな歌詞があったんだと感心して聴いていたら、出演者が自ら曲に合わせて作詞したとのコメントでした。私などは、勝手に言葉を変えてはいけないものだと思っていたので、「そうか、自分で思ったことばに置き換えて歌ってみるのも楽しいかも知れない」と思いがけない収穫でした。「行商人」、「ロシアメドレー」で第一部を終了。ロシアメドレーでは、伴奏(ピアノ、コントラバス、アコーディオンの三人)の息のあった演奏が素晴らしか

った。 ~~~休憩~~~~

■第二部は伴奏者による「満州の丘に立ちて」の演奏ではじまりました(下の写真)。アコーディオンを弾いている井上正志さんは現在八王子のうたごえ喫茶「ふる里」の店主で、もとは「ともしび」の音楽責任者を務めていた方ですとの紹介でした。



■プログラムには無かった「椰子の実」が入り、続く「鶴」では女性トリオと混声で素敵なハーモニーを聴かせてくれました。(下の写真)



「ピョートル街道に沿って」(下の写真)、「蚤の歌」ではオペレッタで鍛えた声量と身体のコなしを如何なく発揮し会場を魅了しました。



□出演者の皆さんピアノやヴァイオリン、アコーディオンなど複数の楽器をこなす人たちは。基礎がしっかりしているので聴き応えもあったし、なによりも楽しいのが素敵です、そして音づくりの参考になったコンサートでした。(文：乙津)